

2019年4月26日

株式会社 リクルート ホールディングス

リクルートグループの『リボンモデルが生むSDGドミノ』が『The Global SDG Awards』において受賞

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に関するアワード『The Global SDG Awards』においてSDG10のテーマで受賞をいたしましたので、お知らせいたします。

受賞について

『The Global SDG Awards』は、カナダ・トロントにおいて、企業のSDGs貢献を促すことを目的とし開催されるグローバルなアワードです。SDG目標17個、それぞれに応募カテゴリーがあり、応募書類は、グローバル企業のサステナビリティ専門家、有識者など17ヶ国70人以上の審査員によって審査されました。

リクルートホールディングスは、『SDG10 人や国の不平等をなくそう』のカテゴリーで、リクルートグループのリボンモデルが生むSDGドミノ（SDG10から広がるSDGsへの貢献）で選出されました。

※詳細に関しましては、下記をご参照ください。

http://www.csrwire.com/press_releases/41826-The-Global-SDG-Awards-Announces-Winners-of-Its-2018-Sustainability-Leadership-Competition

受賞内容について

リクルートグループのリボンモデルが生むSDGドミノとは

リクルートグループは、「私たちは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現を目指す」を基本理念に掲げています。理念の実現に向け、グループ特有のビジネスモデルであるリボンモデルを通じ、情報の非対称性をなくし選択肢を広げること＝SDG10「人や国の不平等をなくそう」を軸としてビジネスを展開しています。

※リボンモデルは、ユーザーとクライアントが出会う場(プラットフォーム)を作り、双方の満足を追求し最適なマッチングによって世の中の「不」の解消に寄与していくビジネスモデルです。

そしてSDG10に取り組むことにより、その他SDGs（「5 ジェンダー平等を実現しよう」、「8 働きがいも経済成長も」、「4 質の高い教育をみんなに」、「1 貧困をなくそう」）に波及効果をもたらし統合的にSDGs目標へ貢献します。ならびにこれを支える「13 気候変動に具体的な対策を」と「人権の尊重」を根源においています。

このようにドミノのような連鎖反応を起こして、社会的な成果につなげていくことを意図し、目標に取り組んでいます。

※『The Global SDG Awards』のHPにおいても事例紹介がされています。

<https://www.globalsdgawards.com/2018-contenders-detail/?id=52>

※『The Global SDG Awards』の『SDG 3 すべての人に健康と福祉を』に応募した株式会社リクルートライフスタイルが提供するサービス『Seem』もHPにおいて事例紹介がされています。

<https://www.globalsdgawards.com/2018-contenders-detail/?id=70>



【本件に関するお問い合わせ先】
<https://recruit-holdings.co.jp/support/form/>